

「令和7年度彦根市男女共同参画センター評価結果」

所管課 企画課

(1) 総合評価は、評価基準の各項目ごとに委員会でA、B、Cの3段階で評価した。

(2) 評価は、以下の3段階とする。

A…優れている

B…概ね適正に行われている

C…改善を要する

(3) 評価結果

No.	基準項目	評価項目		細目		総合評価
1	市民の平等な利用の確保	1	施設の設置目的および市の管理運営方針	1	施設の設置目的を理解した運営であったか	B
				2	市が示した管理運営方針と実施内容が合致していたか	B
		2	平等な利用を図るための具体的な手法およびその効果	1	施設管理や事業内容に偏りはなかったか	B
2	施設の効用の最大限の発揮	1	利用者の増加を図るための具体的な手法およびその効果	1	年間の広報内容は適切であったか	A
				2	利用拡大の取組内容は適切であったか	B
		2	サービスの向上を図るための具体的な手法およびその効果	1	サービス向上のための取組内容は適切であったか	B
				2	全体的に施設の機能を活用した内容であったか	B
		3	施設の維持管理内容、適格性および実現の可能性	1	維持管理内容は適切であったか	B
				2	安全に配慮した維持管理内容であったか	B
3	管理業務の経費の縮減	1	管理業務経費縮減の実現の可能性	1	管理経費は提案価格よりも縮減となっていたか	B
				2	使用料収入は、目標を達成できたか	B
4	管理を安定して行うことができる経営規模や経営能力	1	収支計画の内容、適格性および実現の可能性	1	収支の内訳と事業内容の整合性はあったか	B
		2	安定的な管理運営が可能となる人的配置	1	職員の確保を含め、職員体制は十分な内容であったか	B
				2	職員の指導・育成や研修体制は適切であったか	B
		3	安定的な管理運営が可能となる経済的基盤	1	団体の財務状況は良好であったか	B
5	適切な事業の取組	1	男女共同参画推進事業の効果的な取組	1	事業は、センターの目的を達成するのに適切な内容であったか	B
				2	必須事業内容は適切であったか	B
				3	市民や事業者と協働で取り組む事業内容は適切であったか	B
評価の理由、コメント		A…1 B…17 C…0				

ホールやキッズスペース、自習スペースとしての活用について積極的な周知を行い、多様な媒体を活用した情報発信により、施設利用の拡大に努めるとともに、センター最終年度においても利用団体に寄り添った伴走型の支援が実施された。また、委員からは、センター閉館後を見据えた利用団体間のネットワークづくりに資する取組についても実施されていれば、なおよかったとの意見があった。全体として、概ね適正な管理運営がなされていたと評価された。